『あたらしい皮膚科学：第 3 版』のトップページへ

えられている．

鑑別診断

他の早期老化症候群（**表 18.1**）や全身性強皮症との鑑別が必要である．

予後

動脈硬化による心筋梗塞，脳卒中，糖尿病の悪化や内臓悪性腫瘍などにより，平均寿命 46 歳と短命な症例が多い．

6. Rothmund-Thomson（ロートムント トムソン）症候群
Rothmund-Thomson syndrome

同義語：先天性多形皮膚萎縮症

常染色体劣性遺伝．原因遺伝子の一つは 8 番染色体に存在する *RECQL4* 遺伝子である．乳児期から顔面などに皮膚萎縮や網状～びまん性紅斑，若年性白内障などを認め，光線過敏症を 1/3 の症例でみる．成人期には頭毛や体毛が疎となり，露光部の角化や爪の発育障害をみる（**図 18.8**）．内臓悪性腫瘍（とくに骨肉腫）が 30％で併発するとされるが，併発しなければ生命予後はよい．Werner 症候群と同様の早期老化症候群ととらえることができる．

a

b

図 18.7　Werner 症候群（Werner syndrome）
a：頭髪の疎毛．b：足の潰瘍．

a

b

c

d

図 18.8　Rothmund-Thomson 症候群（Rothmund-Thomson syndrome）
a：疎となった体毛．b：殿部にみられる網状のびまん性紅斑．c：頬部の網状紅斑．d：前胸部．